

氏名	和田 雄志	生年月日	1950年6月22日
所属・役職	社会課題調査分析センター	経験年数	
	理事、フェロー	40年	
専門分野	社会システム、超高齢社会研究、医療福祉政策、地域振興計画、メディア社会論		
所有資格	特になし		
経歴（職歴／学位）	1974年以降、当研究所において未来社会予測、防災・危機管理、ヘルスケア、科学技術と文化の境界領域研究など、多分野にわたる業務に従事		
所属学会	日本未来学会（常任理事）、日本統合医療学会		
類似業務の実績			
業務名	業務内容	履行期間	
高齢者の居場所と出番に関する事例調査（内閣府）	地方公共団体等へのアンケート調査および現地ヒアリング調査を通して、地方公共団体やNPO、団体などによる高齢者の居場所と出番に関する取組実態を冊子にまとめた。冊子は、内閣府から国内の全自治体に配布された。	2011年11月～ 2012年3月	
介護・福祉分野における人的資源の活動実態と課題発掘に関する調査（国立社会保障・人口問題研究所）	介護・福祉分野における人的資源の活動実態と課題発掘に関わるデータを収集・分析し、まとめた。 本調査期間中の3月11日に東日本大震災が発生し、緊急時における介護・福祉サービスのあり方および人材確保の問題も新たに浮き彫りになった。	2010年12月～ 2011年3月	
主な手持ち業務の状況（平成26年4月現在）			
業務名	業務内容	履行期間	
大規模分譲団地活性化に関する調査（民間企業）	URが分譲した築30年超えの大規模団地は、施設の老朽化と居住者の高齢化が同時進行しており、このまま放置すると資産価値の低下とコミュニティの劣化が懸念される。日本全体が超高齢社会に突入した現在、老朽化した居住空間およびそこの地域コミュニティの具体的な再生・活性化戦略を調査研究中である。	2012年10月～ 現在	
統合医療と未来社会に関する研究（民間企業）	我が国は超高齢社会を迎えたが、それにふさわしい新しい社会モデルはまだ構築されていない。高齢者を対象とした医療・ケアモデルから生活・社会モデルへのパラダイム転換方策を探る調査研究を多面的に展開している。	2013年11月～ 現在	